

施設評価シート（一般）

（平成22年度事業）

施設名	備前市吉永美術館	問	担当課（室）	生涯学習課		
		合	職・氏名	主査 光友公昭		
			先	電話	84 - 3839	
所在地	備前市吉永町吉永中885	所属長職・氏名		館長 草加昌昭		
		このシート作成に要した時間			1.0 時間	
建物建設費	73,336 千円	財源	国県等補助金	30,000 千円	建設年月	平成 2 年 2 月
			市債・一般財源等	43,336 千円	耐用年数	50 年

根拠法令等の有無	●あり ○なし	名称	備前市吉永美術館設置条例			
総合計画上の位置付け	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり	基本施策	03	歴史と文化の輝くまちづくり
	施策	01	文化芸術の振興	事務事業名	04	吉永美術館管理運営事業

対象	（この施設運営によりサービスを受けるのは誰か？） 郷土の歴史に興味のある方、美術品をギャラリーとして展示したい方				
目的	（この施設運営によってどのような状態を目指しているのか？） 郷土に関する資料の収集・保存を行うと同時に、展示によって郷土の歴史や文化についての理解・認識を深め、郷土の財産として後世に伝える。また、貸ギャラリーとしての貸館業務を行う。				
施設内容 規模 料金体系	施設内容	規模	料金体系（直近の改定：平成 年 月）		
	鉄筋コンクリート造2階建	延べ床面積206.75㎡	} 4,000円/1日（貸館）		
	特別展示室				
	一般ギャラリー				
展示室		大人200円・子供100円（観覧料）			
管理運営方法	<input type="radio"/> 指定管理者制度導入 <input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> すべて直営		（指定管理者名 又は 一部委託の内容）		
類似施設の状況	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 本市所管 <input type="checkbox"/> 近隣市町、民間その他		（施設名及び施設の概要） 歴史民俗資料館・加子浦歴史文化館		

経費	項目		平成20年度実績		平成21年度実績		平成22年度実績		単位
	費	人件費	正規職員	0.1 人	567	0.0 人	182	0.1 人	503
臨時職員			人		人		人		人/千円
指定管理料								千円	
維持補修費							851	千円	
物件費			803		643		673	千円	
その他（ ）			5		5		5	千円	
減価償却費			780		780		780	千円	
合計			2,155		1,610		2,812	千円	
財源	特定財源	使用料	0		24		0	千円	
		その他						千円	
一般財源			2,155		1,586		2,812	千円	
指定管理者の利用料金収入等								千円	
年間利用者数			645		682		476	人	
利用者1人当たりコスト（一般財源）			3,341		2,326		5,908	円	
受益者負担率			0.0%		1.5%		0.0%	%	

稼 動 実 績	平成22年度 (単位:日,人)													
	種別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	開館日数	0	20	12	18	16	24	3	6	8	23	6	0	136
	吉永美術館	0	23	11	22	14	67	1	320	3	10	5	0	476

施 設 の 受 当 性	社会・経済情勢の変化等により、施設のニーズが薄れていないか？		
	<input type="radio"/> 薄れていない <input checked="" type="radio"/> 薄れている	判断理由	文化祭での利用者数が大半であり、美術館独自の利用者数は少ない。ただ、郷土資料を適切に保存するための維持管理が必要。
	そもそも市が設置・運営すべき施設か？		
	<input type="radio"/> 設置すべきである <input checked="" type="radio"/> 必ずしも設置する必要はない	判断理由	広義の意味での美術館は全国に多数存在するが、当館のように郷土資料を収集している美術館・資料館はあまり見受けられない。
	施設を廃止した場合の市民生活への影響は？		
	<input type="radio"/> 影響が大きい <input checked="" type="radio"/> 影響はさほどない	判断理由	市民生活への影響は若干懸念される。ただそれよりも、空調設備の運用停止により歴史的資料が劣化する恐れがある。

施 設 の 効 率 性	施設の利用状況は順調か？		
	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 順調でない	判断理由	文化祭での利用者数が大半であり、美術館独自の利用者数は少ない。
	受益者負担は適正か？(施設の性質別に設定されている負担割合と比べてどうか)		
	<input checked="" type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担は求められない	判断理由	貸館使用料は適性と思われる。観覧料は現在徴収しておらず、専任の職員が配置されれば徴収可能だが、その分コストはかかる。
	類似施設との統合可能性はあるか？		
	<input type="radio"/> 統合は可能 <input checked="" type="radio"/> 統合は不可能	判断理由	資料を適切に保管・管理できる施設がない。
	管理運営に係るコストを削減する余地はあるか？		
	<input type="radio"/> 削減の余地はある <input checked="" type="radio"/> 削減の余地はほとんどない	判断理由	可能な削減はすでに実施済み。経費の大半は資料保管のための電気代・点検保守。

平成23年度の状況及び管理運営の改善案	全4回の所蔵展を企画。今後PRしていく。今後は老朽化に伴う施設の修繕が予想される。
---------------------	---

施設修繕・大規模改修費用(今後5年間:平成24年度から平成28年度)							
毎年経常的に必要な修繕費	内 容		金額(千円)	今後5年間に必要となる大規模改修費	内 容		金額(千円)
	なし				なし		

判 定	<input type="checkbox"/> 廃止・閉鎖が可能 <input type="checkbox"/> 類似施設との統合が可能 <input type="checkbox"/> 民間又は地域等への譲渡が可能 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度の導入が可能 <input type="checkbox"/> 事務等一部委託が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 現在の管理運営形態が望ましい	判断理由	美術館としての機能は利用客数の現状を考慮すると閉鎖もやむを得ない状況である。だが、郷土歴史資料の適切な保管を行うところが他になく、市が責任をもって管理運営し郷土の財産として後世に伝えていく事が必要。
--------	---	------	---